



令和6年(2024年)
10月12日
土曜日
赤口

各種保険取り扱い
(スポーツ外傷・交通事故・労働災害など)
みらい接骨院
尾鷲市野地町2番33号

☎0597-37-4115

発行所 紀勢新聞
〒519-3639
三重県尾鷲市中川1-22
TEL 0597-23-3344
FAX 0597-22-1471

ふるさと納税サービスに拡張

飲食や体験 事業者対象に説明会

尾鷲市は11日、市立中央公民館で「ふるさと応援納税」に関する説明会を開いた。尾鷲市内で宿泊や飲食、体験、買い物などを行った場合、ふるさと納税をして返礼品として受け取る電子クーポンで代金を支払えるようにする仕組みで、宿泊、飲食、サービス、小売の事業者などが参加した。



説明会の様子

加工品から、宿泊、体験、レジャーなど寄付者のニーズが広がっている」と背景を説明。物を返礼品にするこれまでの仕組みでは、ふるさと納税に参加する事業者にできることが限られていた。今回の拡張により、市内全体的にシステムを取り入れ、さらに市にふるさと納税を増やしていきたい」と参加を呼び掛けた。

システムは132自治体が導入しており、1300か所以上の事業所が参加しているといる。QRコードなど

道路清掃し地域貢献

トラック協会が奉仕活動

一般社団法人三重県トラック協会紀北支部は9日、尾鷲市と紀北町の国道42号の3か所で美化活動を実施。会員25人が落ち葉を集め、草を刈り、道路をきれいにした。

ト(10)とク(9)の語呂合わせで、平成4年に全日本トラック協会と47都道府県のトラック協会が制定した記念日「トラックの日(10月9日)」にちなんだ取り組み。県内9支部がこの日の前後に、トラック輸送の役割や重要性をPRする活動の一環として実施した。

紀北支部では、尾鷲市南浦、紀北町の鷺下と加田で実施。このうち、南浦の非常駐車帯では、竹ぼうきや熊手で、朝まで降っていた雨に濡れた落ち葉を集めた。交通

小づちを守る白い蛇

尾鷲高校生が制作 尾鷲神社の来年の干支絵馬

尾鷲市北浦町の尾鷲神社で初詣客を迎える干支(えと)の巳(み)の大絵馬のデザインが決まり10日、同神社で披露された。6年前の子(ね)の絵馬から県立尾鷲高校の美術部と書道部が合同で制作している。来年のものは縁起物の小づちの周りにとぐるを巻く白い蛇を配し、「壽山福海(じゅざんふくかい)」の字を書いた。

同神社が地域貢献の取り組みの一つとして、18年前から尾鷲高校に大絵馬の制作を依頼している。干支が2巡目に入ってからデザインも生徒が考えて



デザインを披露する2人

三鬼さんは「蛇をかつた。頭としっぽが細いこよく書こうと思った。お腹の部分を意

識して太くした」と述べた。文字が入って仕上がった見本を見て「字もかっこいい。蛇は金運が上がるって言われている。いいな」と思った人に、いい運があればいい」と話した。

壽山福海は行書と草書が混ざった行草書という書体。長寿や幸福が山のように高く、海のように広く訪れることを願って選んだ。尾鷲市は、海と山が近いこともポイントになったという。「尾鷲の人